

<マニュアル訂正連絡票>

FUJITSU Software

ASP Webjet AutoGUI オプション 使用手引書 V30

[J2K0-6020-01Z0]

2019年6月25日発行

修正箇所(章節項): 5.31 富士通 JRE 使用時の注意事項

旧記事

新記事追加

新記事

5.31 富士通 JRE 使用時の注意事項

- インターネットに接続できない環境での Webjet AutoGUI オプション起動について

デフォルトゲートウェイを設定しないことでインターネットに接続できない環境を構築している場合、Webjet AutoGUI オプション起動時に表示されるセキュリティ警告ダイアログの“常に信頼する”を選択すると、ブラウザ画面に“アプレットの初期化中”が表示されたままで Webjet AutoGUI オプションが起動されません。このような場合は、以下の手順で Internet Explorer の設定を行って、保護モードを無効にしてください。

- Internet Explorer の「インターネット オプション」を起動してください。
- 「インターネット オプション」画面の“セキュリティ”タブを選択してください。
- “セキュリティ”タブの“インターネット”ゾーンを選択してください。
- “このゾーンのセキュリティのレベル(L)”領域で、“保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要) (P)”のチェックを外してください。
- “OK” ボタンをクリックして、変更した設定を保存してください。

Internet Explorer を閉じて、Webjet AutoGUI オプションを再起動してください。

- サーバと別セグメントにある端末からのファイル転送について

サーバと別セグメントにある端末から FEXPORT/FIMPORT コマンドを実行する際、サーバ上のファイル転送パラメタファイルを指定したにも関わらず、毎回、送受信パラメタを設定する問い合わせ画面が表示される場合は、以下のどちらかの方法で、プロキシの除外リストに Webjet AutoGUI オプションを利用するホスト名を追加してください。

Internet Explorer の設定を行って、プロキシ除外を有効にする方法

- Internet Explorer の「インターネット オプション」を起動してください。
- 「インターネット オプション」画面の“接続”タブを選択してください。
- “接続”タブの“LAN の設定 (L)”をクリックしてください。
- 「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」画面の“プロキシサーバー”領域で、“LAN にプロキシサーバーを使用する (これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません) (X)”をチェックし、“詳細設定”をクリックしてください。
- 「プロキシの設定」画面の“例外”領域で、“次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない (N)”に、Webjet AutoGUI オプションを利用するホスト名を追加してください。
- “OK” ボタンをクリックして、変更した設定を保存してください。

Internet Explorer を閉じて、Webjet AutoGUI オプションを再起動してください。

JBK プラグインの設定ファイル(jbkplugin.properties)に、プロキシの除外リストを記述する方法

- 以下のパラメタすべてをセットで記述してください。デフォルト状態では、jbkplugin.properties 内のプロキシの設定行はコメント行(‘#’の付いた行)になっています。行の先頭の‘#’を取り除いて、プロキシの設定を行ってください。

jbk.plugin.proxy.enable=true (HTTP プロキシを使用する)

jbk.plugin.proxy.http.host=HTTP プロキシのホスト名

`jbk.plugin.proxy.http.port`=HTTP プロキシのポート番号

`jbk.plugin.proxy.override`=Webjet AutoGUI オプションを利用するホスト名 (HTTP プロキシを使用しないアドレスまたはホスト名のリスト)

2. 変更した設定を保存し、JBK プラグインの設定ファイル(`jbkplugin.properties`)を閉じてください。

Internet Explorer を閉じて、Webjet AutoGUI オプションを再起動してください。

以上